



PS 300

Deutsch	1
English	12
Nederlands	23
Français	34
Español	46
Português	58
Italiano	70
Dansk	82
Svenska	93
Polski	104
Česky	116
Slovenčina	127
Magyar	138
Русский	149
Română	161
Ελληνικά	173
Türkçe	185
عربي	197
日本語	209
한국어	220
中文	230

オリジナル取扱説明書

1 文書について

1.1 本書について

- ご使用前に本書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- 本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- 取扱説明書は常に製品とともに保管し、他の人が使用する場合には、製品と取扱説明書を一緒にお渡しください。

1.2 記号の説明

1.2.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。以下の注意喚起語が使用されています：



危険

危険！

- ▶ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。



警告

警告！

- ▶ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。



注意

注意！

- ▶ この表記は、身体の負傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

1.2.2 本書の記号

本書では、以下の記号が使用されています：



使用前に取扱説明書をお読みください



本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報



リサイクル可能な部品の取扱い



工具およびバッテリーを一般ゴミとして廃棄してはなりません

1.2.3 図中の記号

図中では以下の記号が使用されています：



この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています

3

付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順とは一致しない場合があります



概要図には項目番号が付されていて、製品概要セクションの凡例の番号に対応しています



この記号は、製品の取扱いの際に特に注意が必要なことを示しています。

1.3 製品により異なる記号

1.3.1 製品に表示されている記号

製品には以下の記号が使用されていることがあります：



	本体は、iOS および Android プラットフォームと互換性のある NFC テクノロジーをサポートしています。
Li-Ion	Li-Ionen バッテリー
	使用されている Hilti Li-Ion バッテリーのモデルシリーズ。正しい使用の章の記載に注意してください。
	バッテリーは決して打撃工具として使用しないでください。
	バッテリーは落下させないでください。ぶつけたり、あるいはその他の理由で損傷しているバッテリーは使用しないでください。
	本製品は危険源となることがあります。取扱説明書をお読みください。

1.4 テキスト表示について

1.4.1 ボタン / ソフトウェア

本書のテキスト表示は以下のようになっています：

	テキストとしてボタンに言及する場合は、 グレーの背景 で表示されています。
	記号としてボタンに言及する場合には、 黒の背景 で表示されています。
	ボタンと画面記号は 明るい背景 で表示されています。
	画面テキストは、太字で「 アポストロフィ 」付きで表示されます。

1.5 適合宣言

当社は、単独の責任において本書で説明している製品が有効な基準と標準規格に適合していることを宣言します。適合宣言書の複写およびその他の規制記号は本書の末尾にあります。

技術資料は本書の後続の頁に記載されています：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH | Zulassung Geräte | Hiltistraße 6 | 86916 Kaufering, DE

1.6 製品情報

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。

機種名および製造番号は銘板に表示されています。

- ▶ 製造番号を以下の表に書き写しておいてください。ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、製品データが必要になります。

製品データ

スキャナー	PS 300 PS 300-W
製品世代	01
製造番号	

2 安全

2.1 測定機器に関する一般安全注意事項

⚠ 警告事項！安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。これらを守らないと、感電、火災および / または重傷事故の危険があります。

安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

作業環境に関する安全

- ▶ 作業場は清潔に保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故の原因となります。



- ▶ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では本製品を使用しないでください。
- ▶ 本製品の使用中、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。
- ▶ 本製品は必ず決められた使用制限内で使用してください。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 本製品を雨や湿気から保護してください。バッテリー内に湿気が入り込むと、短絡、感電、火傷あるいは爆発の原因となることがあります。

作業者に関する安全

- ▶ 測定機器を使用の際には、油断せず十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には測定機器を使用しないでください。測定機器使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- ▶ 作業中是不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一測定機器が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 個人保護用具を着用してください。負傷の危険を低減するために、測定機器の使用状況に応じて粉じんマスク、耐滑性の安全靴、保護ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 安全機構を無効にしたり、注意事項や警告事項のステッカーをはがしたりしないでください。
- ▶ 意図しない始動を防止してください。測定機器をバッテリーに接続する前や持ち上げたり運んだりする前に、測定機器がオフになっていることを確認してください。測定機器のスイッチに指を掛けのまま運んだり、スイッチオンになっている測定機器を電源に接続すると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 本説明書内の指示に従うとともに、各形式に合った製品およびアクセサリーを使用してください。その際には、作業状況と実行する作業について考慮してください。製品を指定された用途以外に使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

測定機器の使用および取扱い

- ▶ スイッチが故障している場合には、測定機器を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない測定機器は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 測定機器をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。本製品に関する知識のない方、本説明書をお読みなない方によるご使用は避けてください。未経験者による測定機器の使用は危険です。
- ▶ 測定機器は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、測定機器の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。測定機器を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。事故の多くは保守管理の不十分な測定機器の使用が原因となっています。
- ▶ 本製品は決して改造したり手を加えたりしないでください。Hilti からの明確な許可なしに本体の改造や変更を行うと、使用者が本体を操作する権利が制限されることがあります。
- ▶ もし測定機器が落下やその他の機械的な圧力を受けた場合は、測定機器の精度をチェックしてください。
- ▶ 測定結果は、特定の周囲条件の影響を受けることがあります。
- ▶ 極度に低温の場所から暖かい場所に移す場合、あるいはその逆の場合は、製品の温度が周囲温度と同じになるまで待ってから使用してください。
- ▶ アダプターおよびアクセサリーを使用するときは、本体がしっかり固定されていることを確認してください。
- ▶ 本体は防湿になっていますが、本体ケースに入れる前に必ず水気を拭き取り、乾いた状態で保管してください。

バッテリー工具の使用および取扱い

- ▶ 測定機器には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 使用されていないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属物を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ バッテリーを正しく使用しないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。誤ってバッテリー液に触れてしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流して医師の診断を受けてください。

2.2 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。



- ▶ バッテリーは高温、直射日光および火気を避けて保管してください。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80°C以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ 衝撃を受けたことのあるバッテリー、1 mを超える高さから落下したことのあるバッテリー、あるいはその他の損傷を被っているバッテリーを使用あるいは充電しないでください。この場合には、必ず最寄りのHilti サービスセンターにご連絡ください。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。バッテリーを、目視確認が可能で可燃物のない場所に、可燃性の資材から十分な距離を設けて置いてください。バッテリーを冷ます。1時間の経過後にも掴むことのできないほどに熱い場合は、そのバッテリーは故障している可能性があります。Hilti サービスセンターに連絡してください。

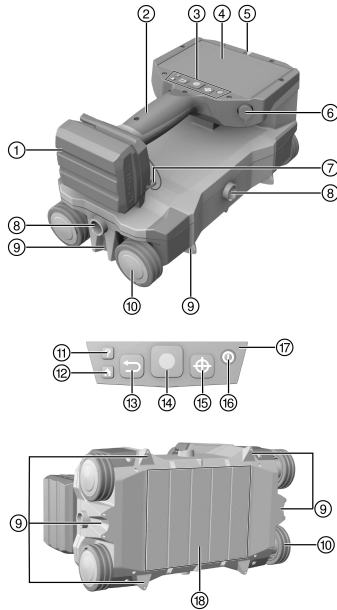
2.3 探査機に関するその他の安全上の注意

- ▶ 本製品は関連する規則のすべての要求事項に適合するように設計されていますが、Hiltiとしては、本製品が強い磁場あるいは電磁場により障害を受けて、測定が不正確になる可能性を完全に排除することはできません。このような場合、およびその他の不確実性が考えられる場合は、検査測定を行う必要があります。
- ▶ ご使用前に測定機器に保存されている取扱説明書をお読みください。
- ▶ 測定機器は、必ず技術的に問題のない状態で使用してください。
- ▶ 測定機器は決して加工や改造を加えないでください。
- ▶ 妊娠している人あるいはペースメーカー使用者の近く、および医療機器の近くでは測定機器を使用しないでください。
- ▶ ご使用になる前に、測定機器が周囲温度と同じになるのをお待ちください。
 - ▶ 温度差が激しいと、誤作動が発生する可能性があります。
- ▶ 測定条件が急激に変わる場合、測定結果に誤りが生じることがあります。
- ▶ ご使用前に、測定機器の初期設定およびご自分で行われた設定を点検してください。
- ▶ 警告メッセージに注意してください。
- ▶ 照会用方眼紙は確実に固定し、必要ならば規定のコーナー位置に合わせてコーナーポイントをコンクリート面にマーキングしてください。
- ▶ 測定結果は、特定の周囲条件の影響を受けることがあります。測定結果に影響を及ぼす条件としては、強力な磁場または電磁場を発生させる機器の近辺、水分、金属を含む建設資材、アルミニウムで覆われた断熱材、層構造、空隙部のある構造物および導電性のある壁布あるいはタイルなどが考えられます。このため、構造物で穿孔、切断あるいはフライス加工を行う前に、他の情報源（建築設計図など）も確認してください。
- ▶ 決して測定機器のみを信用しないでください。測定結果は、他の情報源、検査測定および必要に応じて試穿孔により追加検証してください。
- ▶ 測定機器によって埋設物が検出された位置に穿孔を行わないでください。穴の径を考慮して常に適切な安全係数を見込んで計算してください。
- ▶ 測定精度に影響を及ぼす恐れがあるので、スキャナーの下側とホイールは汚れのない状態に保ってください。
- ▶ スキャン動作中は4つのホイールは常にすべて探査面に接触させてください。本体は段差や2つの面を超えて動かさないでください。
- ▶ 測定機器背面のセンサー領域にシールやラベルを貼り付けしないでください。特に金属性のラベルは測定結果に影響を及ぼします。
- ▶ タッチスクリーンには、必ず清潔で乾いた指で触れるようにしてください。タッチスクリーンは清潔で傷をつけることのない布で拭いて、汚れがなくタッチに良好に反応するようにしてください。測定機器はケースに入れる前に乾燥させてください。
- ▶ 所定の動作温度および保管温度を守ってください。
- ▶ 保管する前にバッテリーを取り外してください。
- ▶ もし測定機器が落下やその他の機械的な圧力を受けた場合は、測定機器の精度をチェックしてください。本体に損傷のある場合は、Hilti サービスセンターに修理を依頼してください。
- ▶ 測定機器は現場仕様で設計されていますが、他の光学および電子機器（双眼鏡、眼鏡、カメラなど）と同様、取り扱いには注意してください。
- ▶ 各国の定める事故防止規定に従ってください。



3 製品の説明

3.1 概要



- ① バッテリー
- ② グリップ
- ③ 操作パネル
- ④ タッチ感応画面
- ⑤ 埋設物クラス
- ⑥ 多機能接続部
- ⑦ ストラップ
- ⑧ PSA 71 テレスコープエクステンションの固定位置
- ⑨ マーキング用切込み / マーキング用ノーズ
- ⑩ ホイール
- ⑪ ヘルプボタン
- ⑫ ホームボタン
- ⑬ 戻るボタン
- ⑭ スタート / ストップボタン
- ⑮ マーキングボタン
- ⑯ ON/OFFボタン
- ⑰ LED 作動標示
- ⑱ センサー領域

3.2 正しい使用

この測定機器は、コンクリートおよびその他の非鉄建設資材内の鉄筋の位置測定、かぶり厚の測定、および鉄筋の最上位置の直径の査定のためのものです。

- ▶ 本製品には、必ずHiltiのB 12シリーズのLi-Ionバッテリーを使用してください。
- ▶ これらのバッテリーには、必ずHiltiのC4/12シリーズの充電器を使用してください。

3.3 使用場所の制限

本測定機器は、電磁波適合性および無線スペクトラムの制限値を満たしています。しかしながら、病院や原子力発電所内および空港や携帯電話中継施設の近辺では、本測定機器の使用が許可されるかどうかを確認する必要があります。

3.4 本体標準セット構成

PS 300 探査機、ストラップ、保存メディア、データケーブル、ブラシ、クリーニングクロス、照会用方眼紙、接着テープ、マーキングペン、取扱説明書、本体ケース。

その他の本製品用に許可されたシステム製品については、弊社営業担当またはHilti Storeにお問い合わせいただくか、あるいはwww.hilti.group | USA: www.hilti.com でご確認ください。

4 製品仕様

4.1 製品仕様

	PS 300	PS 300-W
重量	1.95 kg (4.30 lb)	1.95 kg (4.30 lb)
耐候性、バッテリーなし	IP 54	IP 54



2200189

	PS 300	PS 300-W
相対湿度	90 %	90 %
作動時の周囲温度	-10 °C ... 50 °C (14 °F ... 122 °F)	-10 °C ... 50 °C (14 °F ... 122 °F)
保管温度	-25 °C ... 63 °C (-13 °F ... 145 °F)	-25 °C ... 63 °C (-13 °F ... 145 °F)
WLAN 周波数、チャンネル 1...11	•/•	2,412 MHz ... 2,462 MHz
WLAN 周波数、チャンネル 36...48	•/•	5,180 MHz ... 5,240 MHz
最大送信出力、チャンネル 1...11	•/•	100 mW
最大送信出力、チャンネル 36...48	•/•	50 mW

4.2 バッテリー

バッテリー作動電圧	10.8 V
作動時の周囲温度	-17 °C ... 60 °C (1 °F ... 140 °F)
保管温度	-20 °C ... 40 °C (-4 °F ... 104 °F)
充電開始時のバッテリー温度	-10 °C ... 45 °C (14 °F ... 113 °F)

5 ご使用前に

5.1 バッテリーを充電する

1. 充電の前に充電器の取扱説明書をお読みください。
2. バッテリーと充電器の電気接点は汚れがなく、乾燥していることを確認してください。
3. バッテリーは許可された充電器で充電してください。

5.2 バッテリーを装着する

注意

負傷の危険 短絡あるいはバッテリーの落下！

- ▶ バッテリーを装着する前に、バッテリーの電気接点と製品の電気接点に異物がないことを確認してください。
 - ▶ バッテリーが正しくロックされていることを常に確認してください。
1. はじめてお使いになる前にはバッテリーをフル充電してください。
 2. ロックの音が聞こえるまでバッテリーを本体ホルダーに装着します。
 3. バッテリーがしっかりと装着されていることを確認してください。

5.3 測定機器をオンにする

1. ボタンを押します。
2. ディスプレイにメッセージ ‘免責条項を承諾する’ が表示されます。測定機器を操作するためには、このメッセージに同意してください。



測定機器が動作温度外にあると、エラーメッセージが表示されて測定機器は自動的にオフになります。測定機器を冷却あるいは温めて、その後測定機器を改めてオンにしてください。

5.4 ご使用前に

1. バッテリーを装着します。→ 頁 214
2. 測定機器をオンにします。→ 頁 214



3. 新品の製品では、まず最初に‘初回設定’の表示が現れます。適切な設定を選択してください。
- ▶ お客様向けの設定が一旦選択されると、スイッチオン時に再び要求が表示されることはありません。



‘日時’ および ‘国設定’ はいつでもメニュー ‘設定’ によりを調整することができます。

6 ご使用方法

6.1 ボタンの機能

	ヘルプボタン	取扱説明書の状況に対応した部分を表示します。
	ホームボタン	各画面からメインメニューに戻ります。
	戻るボタン	前の画面表示に戻ります。‘Imagescan’ での追加機能。
	スタート / ストップボタン	記録をスタート / ストップさせます。‘Imagescan’ での追加機能および片手操作に対する追加機能。
	マーキングボタン	スキャンデータに位置をマーキングします。
	ON/OFFボタン	測定機器をオン / オフします。

6.2 タッチスクリーン

PS 300 は、種々のタッチにより操作できるタッチ感応式ディスプレイ(「タッチスクリーン」)を備えています：

- 短くタップして選択します。
- スクロールするには、指をタッチスクリーンに乗せてフリックします。
- 追加メニューを呼び出すには、指をタッチスクリーンに長く乗せます。
- 画面の一部を拡大するには、2本の指を乗せてそれを互いに離すように動かします。画面の一部を縮小するには、2本の指を乗せてそれを互いに近づけるように動かします。

画面ページを戻すには ボタンを使用するか、あるいはタッチスクリーンの左上コーナーの ボタンをタップします (表示されている場合)。 ボタンで直接メインメニューに戻ることができます。

現在のメニューに2ページ以上の画面ページがある場合は、画面下端にそのことを示す小さな点が表示されます。

6.3 取扱説明書を表示させる

1. ボタンを押します。ディスプレイに取扱説明書の状況に応じた箇所が表示されます。その後、取扱説明書全体を閲覧することができます。
2. 取扱説明書の表示を終了するには、 ボタンを押します。

6.4 ‘Quickscan’

この機能により、コンクリートおよびその他の非鉄建設資材中の鉄筋の位置を測定し、リアルタイムで表示することができます。スキャン方向に対して垂直の位置にある鉄筋は、平面図および断面図により表示され、マーキング用切込みにより探査面に直接マーキングすることができます。

1. メインメニュー で ‘Quickscan’ を選択します。
2. 校正のために、表示ディスプレイの指示に従ってスキャナーを空中に保持し、あらゆる電磁および磁気信号から遠ざけてください。
3. スキャナーを測定面上で保持します。
4. ボタンで測定を開始します。測定の開始を知らせるトーン信号が聞こえ、情報エリアに記録位置が赤く表示されます。
5. スキャン対象面の上方でスキャナーを左または右へと動かし、対象物の位置を測定します。表示ディスプレイの垂直中央線によりスキャン対象の位置を読み取り、それをホイールの間のマーキング用切込みにマークします。これに代えて、破線を使用して当該の側方ハウジングエッジに沿ってスキャン対象の位置をマークすることもできます。スキャン動作が許容最大スキャン速度になると、音響および視覚による警告が発せられます。スキャン動作が速すぎると、測定がキャンセルされます。
6. ボタンで測定を終了させます。2回のトーン信号は、測定が終了したことを知らせるものです。



7. 測定の前後に、 および ボタンにより計算パラメーターと表示パラメーターを設定することができます。

6.5 'Quickscan 記録'

この機能により、コンクリートおよびその他の非鉄建設資材中の長い距離を記録することができます。スキャン方向に対して垂直の位置にある鉄筋は、記録の終了の後平面図表示および断面図表示により表示させることができます。

1. メインメニュー で 'Quickscan 記録' を選択します。
2. 校正のために、表示ディスプレイの指示に従ってスキャナーを空中に保持し、あらゆる電磁および磁気信号から遠ざけてください。
3. スキャン方向を設定します。
4. スキャナーを測定面上で保持します。
5. ボタンで測定を開始します。測定の開始を知らせるトーン信号が聞こえ、情報エリアに記録位置が赤く表示されます。
6. 予め設定した方向へとスキャナーを動かします。評価可能なデータを得るためには、30 cm (11.81 インチ) 以上の距離をスキャンしてください。最低長に達すると進捗バーの色が変わります。最大スキャン長は 50 m (164 フィート) です。スキャン動作が許容最大スキャン速度になると、音響および視覚による警告が発せられます。スキャン速度が速すぎると測定がキャンセルされ、スキャンは保存されません。スキャン方向は変更しないでください。スキャナーを設定とは異なる方向へ 15 cm (5.9 インチ) 以上動かすと、測定は自動的にキャンセルされます。
7. ボタンで測定を終了させます。2 回のトーン信号は、測定が終了したことを知らせるものです。スキャンデータは有効なプロジェクトに保存されます。
8. 測定をチェックするにはプレビュー領域をタップします。 および ボタンにより計算パラメーターと表示パラメーターを設定することができます。

6.6 'Imagescan'

この機能は、コンクリートおよびその他の非鉄建設資材内の鉄筋を平面的に表示するために使用してください。鉄筋は平面図で表示されます。

1. スキャン対象の整準を評価するには、'Quickscan' を実施してください。→ 頁 215
2. 照合用方眼紙を測定面上でスキャン対象位置に対して直角の位置にし、方眼紙を接着テープで固定します。

照合用方眼紙がたるみなく固定されている場合に限り、スキャナーのディスプレイの距離表示は照合用方眼紙の距離データに対応したものとなります。

3. メインメニュー で 'Imagescan' を選択します。
4. グリッドサイズとスタート点を選択します。
5. グリッドとスタート点に従ってスキャナーを測定面上に保持します。
6. ボタンで測定を開始します。測定の開始を知らせるトーン信号が聞こえ、情報エリアに記録位置が赤く表示されます。2 回のトーン信号は、測定軌道の終点を知らせるものです。測定は、それぞれの測定軌道の終点で自動的に終了します。
7. グリッドに従って、スキャナーを測定面上で動かします。すべての測定軌道を測定します。スキャン動作が許容最大スキャン速度になると、音響および視覚による警告が発せられます。スキャン動作が速すぎると、測定がキャンセルされます。その場合には、当該の測定軌道を改めて測定する必要があります。測定進捗状況がバー表示されます。最低長に達すると進捗バーの色が変わります。
8. 最後に測定した測定軌道を拒否 (無効) にするには、 ボタンを押します。その後、新しい測定を開始することができます。
9. 測定軌道をスキップするには、 ボタンを短く続けて 2 回押します。
10. 最後の測定軌道のスキャン後に測定結果が表示されます。スキャンデータは有効なプロジェクトに保存されます。

6.7 'プロジェクト'

この機能により、プロジェクトの管理、実行したスキャンの表示および解析が可能です。

1. メインメニュー で 'プロジェクト' を選択します。
2. 希望のプロジェクトを選択します。有効なプロジェクトは、常にリストの最上位置に左上コーナーにマークがついた状態で表示されます。この有効なプロジェクトに、これから行うスキャンのデータが保存されます。



3. 希望のスキャンを選択します。スキャンが表示され、‘Quickscan 記録’ タイプのスキャンデータを改めて解析することができます。

6.8 データ転送

PS 300 のスキャンデータを、データケーブルを介して PC または PSA 200 に転送することができます。PS 300-W は WLAN を介して使用することもできます。PSA 200 との WLAN 接続が構築されていると、データをケーブルなしで転送することができます。これに関しては、PSA 200 および / または Hilti Detection ソフトウェアの取扱説明書に従ってください。



データ接続が有効な間は、PS 300 はロックされています。

6.9 測定機器をオフにする

- ▶ ボタンを 1 秒間押し、再び指を放します。
 - ▶ 測定機器がオフになります。
 - ▶ スキャンプロセス中は最初に確認メッセージが表示されます、測定機器をオフにするにはこれを確定する必要があります。

6.10 バッテリーを取り外す

1. バッテリーのリリースボタンを押します。
2. 本体からバッテリーを抜き取ります。

7 設定

7.1 メニュー ‘設定’

以下の設定が可能です：

- ‘明るさ’
- ‘音量’
- ‘日時’
- ‘国設定’
- ‘パワーモード’
- ‘オプション’
- ‘工場設定リセット’
- ‘アップデート’
- ‘ホイールセンサーテスト’

さらに、‘情報’ において現在のソフトウェアステータスを呼び出すことができます。

8 バッテリー装置の搬送および保管

搬送

注意

搬送時の予期しない始動！

- ▶ お使いの製品は、必ずバッテリーを装着していない状態で搬送してください！
- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ バッテリーは決して梱包しない状態で搬送しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーを長距離にわたって搬送した後は、使用前の前に損傷がないかチェックしてください。

保管上の注意事項

注意

故障したあるいは液漏れしたバッテリーによる予期しない損傷！

- ▶ お使いの製品は、必ずバッテリーを装着していない状態で保管してください！
- ▶ 本体とバッテリーは、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。
- ▶ バッテリーを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーは、子供や権限のない人が手を触れることのないようにして保管してください。



▶ 本体とバッテリーを長期間にわたって保管した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

8.1 手入れと保守

警告

バッテリーを装着した状態における負傷の危険！

▶ 手入れや保守作業の前に必ずバッテリーを取り外してください！

本体の手入れ

- 強固に付着した汚れは慎重に除去してください。
- 通気溝を乾いたブラシで入念に清掃してください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。

Li-Ion バッテリーの手入れ

- バッテリーは清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。
- 湿気が入り込まないようにしてください。

保守

- 目視確認可能なすべての部品について損傷の有無を、操作エレメントについては問題なく機能することを定期的に点検してください。
- 損傷および/または機能に問題のある場合は、本製品を使用しないでください。直ちにHilti サービスセンターに修理を依頼してください。
- 手入れおよび保守作業の後は、すべての安全機構を取り付けて機能を点検してください。



安全な作動のために、必ず純正のスペアパーツと消耗品を使用してください。本製品向けに弊社が承認したスペアパーツ、消耗品およびアクセサリは、弊社営業担当またはHilti Store お問い合わせいただくか、あるいはwww.hilti.groupでご確認ください。

8.2 Hilti 測定技術サービス

Hilti 測定技術サービスは測定機器の点検を行い、取扱説明書に記載されている製品仕様を満たしていない場合には修正して製品仕様を満たした状態にあるかどうかを再点検します。チェックの時点において製品仕様を満たした状態にあることは、サービス証明書により確認されます。以下をお勧めします：

- 使用状況に応じて適切な点検間隔を選択すること。
- 本体を通常よりも厳しい条件で使用した後、重要な作業の前、これらに該当しなくても少なくとも1年に1回はHilti 測定技術サービスに点検を依頼すること。

Hilti 測定技術サービスによる点検は、使用前および使用中のユーザーによる測定機器のチェックを不要にするものではありません。

9 故障時のヒント

9.1 故障かな？と思った時

この表に記載されていない、あるいはご自身で解消することのできない故障が発生した場合には、弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にご連絡ください。

故障	考えられる原因	解決策
測定機器が始動しない。	バッテリーが充電されていない。	▶ バッテリーを充電する必要があります。
	測定機器あるいはバッテリーの電気接点が汚れている。	▶ 電気接点を清掃してバッテリーを改めて装着してください。
	バッテリーの故障。	▶ Hilti サービスセンターに連絡してください。
	ディスプレイの故障。	▶ 操作パネルで緑色のLEDが点灯しているのにディスプレイに何も表示されない場合は、Hilti サービスセンターにご連絡ください。



故障	考えられる原因	解決策
測定機器が始動しない。	① ボタンの故障。	▶ 操作パネルで緑色のLEDが点灯していない場合は、Hilti サービスセンターにご連絡ください。

10 RoHS (有害物質使用制限に関するガイドライン)

下記のリンクより、有害物質を記載した表を確認できます：qr.hilti.com/r9374764。
本書の最終ページに RoHS 表にリンクした QR コードがあります。


11 廃棄



警告

負傷の危険。 誤った廃棄による危険があります。

- ▶ 機器を不適切に廃棄すると、以下のような問題が発生する恐れがあります：プラスチック部品を燃やすと毒性のガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすことがあります。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。
- ▶ 故障したバッテリーはただちに廃棄してください。廃棄したバッテリーは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーを分解したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ バッテリーは各国の法律規制に従って廃棄するか、使わなくなったバッテリーはHiltiへ返送してください。

 Hilti 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でHiltiは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にお尋ねください。

12 メーカー保証

- ▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りのHilti 代理店・販売店までお問い合わせください。

13 FCC 注意事項 (米国用) / IC 注意事項 (カナダ用)



本体はFCC 規定の Part 15 に定められたクラス A のデジタル装置の制限に適合していることがテストで確認されています。これらの制限値は、商工業区域での使用における電磁干渉に対する妥当な保護を保証するものとなっています。この種の機種は高周波を発生、使用し、放射することもあります。取扱説明書に従わず設置、使用した場合は、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。本装置の住宅区域における使用は、それに対する処置費用を使用者が負担しなければならない干渉の原因となることがあります。

本設備は、FCC 規定の第 15 条、およびISED のRSS-210 仕様に適合しています。
ご使用前に、以下の点につきご了承下さい。

- 本体は有害な干渉を引き起こさないでしょう。
- 本体は、予期せぬ操作を引き起こすような干渉をも受信する可能性があります。



Hilti からの明確な許可なしに本体の改造や変更を行うと、使用者が本体を操作する権利が制限されることがあります。





Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.:+423 234 21 11
Fax:+423 234 29 65
www.hilti.group



2200189